

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益社団法人 大阪市音楽団
公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra

内容
<ol style="list-style-type: none">1. 指揮者、楽団員、事務局員の紹介。担当の先生による。2. マイクを指揮者に渡し(あるいはあらかじめ持っている。)改めて指揮者から挨拶。楽団の紹介。本公演のお知らせとそれに向けてのワークショップの説明。(歌唱指導、楽器試奏は無し)3. 楽団員による。楽器紹介(説明)とソロ演奏。1人持ち時間10分以内。(木、金、打)4. 時間があれば指揮者体験コーナー。本公演「カルメン」(楽譜準備)生徒2~3名5. 簡単な質問コーナー。6. マイクを担当の先生に戻す。終了。

タイムスケジュール(標準)
<ol style="list-style-type: none">1. 学校担当者よりご紹介(3分)、2. 主指導者挨拶・楽団紹介・ワークショップ実演(20分)、3. 指導者による楽器紹介(30分)、4. 指揮者体験コーナー(10分)、5. 質疑応答(5分)、6. 学校担当者による締めの挨拶(1分)

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
6名：主指導者(指揮者)1、指導者(楽団員)3、スタッフ(事務局員)2 ※場合によりワークショップができない場合は視察スタッフ2名のみ

学校における事前指導
ワークショップが行えなかった場合は、ガイドブックを送付し、事前に学校で音楽鑑賞等をおこなっていただき生の演奏体験との差を学ぶ準備をしていただく。 児童・生徒たちの歌唱については行わず、小さく手拍子でリズム練習(アフタービートや他のリズムパターン)

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	公益社団法人 大阪市音楽団
公演団体名	Osaka Shion Wind Orchestra

演目
<p>【a. 小学生（低学年・中学年）向けプログラム】（90分）【b. 小学生（高学年）・中学生向けプログラム】（90分）児童・生徒たちの鑑賞中の密をさけるため、上記規定プログラムより、短縮公演等柔軟に対応可能。</p> <p>その際、入れ替えの時間を「午前、午後」など十分空ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行進曲「ブロックM」/J.H. ビリク（3' 00"）【a.のみ】 ・～楽器紹介～【a. b. 共通】 ・組曲「惑星」より ジュピター讃歌/G.ホルスト（J. デメイ編）【a.のみ】 ・歌劇「サムソンとデリラ」からバツカナル/C. サン＝サーンス（L. D. スタイガー編）【b.のみ】 ・ベルシャの市場にて/A.W. ケテルビー【a.のみ】 ・指揮者体験コーナー（生徒2名程度）※進行状況により割愛 <p>歌劇「カルメン」より 前奏曲/G. ビゼー（高昌帥編）【a. b. 共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見上げてごらん夜の星を～ファイブ・サクソ・コンチェルト/いずみたく & L. アンダソン（宮川彬良編）【a. b. 共通】 ・宝島/和泉宏隆（真島俊夫編）【a. b. 共通】 ・アンコール：東京オリンピックマーチ/古関裕而または校歌【a. b. 共通】

派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください
53名：演奏者（指揮者・楽団員）48名、スタッフ5名

タイムスケジュール（標準）					
前日仕込み（有・○無）会場設営の所要時間（1時間程度）					
到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
12時30分	12時30分～13時30分	13時30分～14時30分	0分	14時30分～15時	15時
※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね1時限分程度です。					

実施校への協力依頼人員
特に無し（場合によりパイプ椅子等学校備品用意の事前準備に関わる人員）

演目解説

吹奏楽で用いられる楽器紹介

「吹奏楽って何だろう？」というテーマで吹奏楽の主な編成である金管楽器、木管楽器、打楽器、コントラバスをアンサンブルやソロの形式で紹介し、楽器の形や音色を目と耳から学びます。

音階のお話

世界の様々な音階の中から四七抜き音階、アラビア音階といった印象的な音階を用いたクラシックの名曲を選曲することで、長く記憶に留められる効果が期待できます。

体験・参加型プログラムとして

1. 指揮者体験：代表生徒に実際の指揮を体験し、音楽の構造と関わりを学びます。
2. 校歌（選択式）：当団演奏を聴き、心の中歌うことで一つの音楽を作る体験をします。
3. 吹奏楽部との共演（選択式）：当団演奏の中に入り一緒に演奏を行い、曲想と音楽の構造との関わりについて学びます（奏者間のソーシャルディスタンスには十分配慮します）。

エンターテイメントとしての音楽鑑賞会

この鑑賞会をきっかけに、音楽に興味を持っていただくためにも、「音楽＝楽しい」と感じるパフォーマンスを交えた演目や、楽器を演奏できなくても手拍子で音楽に入り込みやすい要素を取り入れた演目としています。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

体験型プログラムの準備

指揮者体験コーナー：指揮者になって1分程度の楽曲（2拍子）曲を演奏する。
合同演奏（吹奏楽部）、選択アンコール（校歌斉唱は無し）、手拍子参加呼びかけ等

児童生徒とのふれあい

演奏中や指揮者トークの間、児童・生徒の皆さんの方を向き、表情や様子を伺い、笑顔で親しみを感じあえるように工夫する。

終演後、ハイタッチや「また空いましょう！」の声かけの代わりに、全員で大きく手を振り、別れを惜しむ気持ちや、感謝の気持ちが伝わるようにいたします。